

第2 実践事例

事例1 「聞くこと」に重点を置き、音声に十分慣れ親しませることをねらった事例

- 学年 第3学年
- 主な領域 「聞くこと」「話すこと [やり取り]」
- 事例のポイント
 - ①言語習得の特性（※1）を踏まえた「聞くこと」に重点をおいた指導を行う。
 - ②音声で十分に慣れ親しんだ英語を「話すこと [やり取り]」につなげられるように場面設定をする。
 - ③評価場面や方法を工夫し、児童の変容を見取れるようにする。
 - ④主体的に思考する活動を促すために、ICT端末の利点を生かし、効果的に活用する。

1 単元名 Let's Try! 1 Unit 8 What's this? これなあに？

2 単元について 省略

3 児童の実態について 省略

4 単元の目標

- ・外来語とそれが由来する英語の違いに気付き、身の回りの物の言い方や、ある物が何かを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 〈知識及び技能〉
- ・クイズを楽しむために、身の回りの物について推測しながら聞き取ったり、相手に伝わるように工夫しながら考えや気持ちなどについて伝え合ったりする。 〈思考力、判断力、表現力等〉
- ・クイズを楽しむために、身の回りの物について推測しながら聞き取ったり、相手に伝わるように工夫しながら伝え合ったりしようとする。 〈学びに向かう力、人間性等〉

5 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと 〔聞〕	①外来語と英語の音声の違いに気付き、身の回りの物の言い方や、ある物が何かを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しんでいる。	①クイズを楽しむために、身の回りの物についての英語表現に耳を傾け、推測しながら聞き取っている。	①クイズを楽しむために、身の回りの物についての英語表現に耳を傾け、推測しながら聞き取ろうとしている。
話すこと 「やり取り」 〔や〕	①身の回りの物について、ある物が何か尋ねたり答えたりする表現 What's this? について理解し、What's this? を用いて、クイズを出し合うことに慣れ親しんでいる。	①クイズを楽しむために、相手に伝わるように工夫しながら、身の回りの物についてヒントを考え、尋ねたり答えたりして伝え合っている。	①クイズを楽しむために、相手に伝わるように工夫しながら、身の回りの物についてヒントを考え、尋ねたり答えたりして伝え合おとしている。

※本資料の「5 単元の評価規準」の表記については、文部科学省国立教育政策研究所・教育課程センター「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料（令和2年3月）に掲載されている表記と統一化を図るため、埼玉県教育委員会が発行した小学校教育課程指導・評価資料（令和2年3月）に掲載されている枠の表記と異なる様式とした。

6 単元計画（5時間扱い）

時	◆目標・○活動	評価		
		知・技	思・判・表	態
1	◆外来語と英語の音声の違いに気付くとともに、飲食物、生き物、スポーツなどの身の回りの物を表す言い方を知る。			
	○Sit Down Game (Small Talk 代替の活動) 「ジェスチャークイズ(食べている物は何?)」 何かを食べているジェスチャーを見せながら ”What’s this?”  ○Song : [Do Re Mi] ○【Let’s Play 1】 LT 1 (Let’s Try!1) P31 虫眼鏡に映る物が何か考えよう。  ○「これなんだ? 付け足しお絵かきクイズ」			◎評価規準 <評価方法>
2	◆「What’s this? これなあに?」の表現に慣れ親しむ。			
	○Sit Down Game(Small Talk 代替の活動) 「ジェスチャークイズ(手に持っているスポーツのための道具は何?)」 “What’s this?”  ○Song: [Do Re Mi] ○【Let’s Play 2】 LT 1 P32 映像を見て、それが何か考えよう。  ○Story book 「やさいのおなか」 (出版社：福音館書店 作絵：きうち かつ) 			◎評価規準 <評価方法>
3	◆「What’s this? これなあに?」の表現に慣れ親しみ、身の回りの物について聞き取ったり答えたりする。			
	○Sit Down Game(Small Talk 代替の活動) スーパーマーケットで売っている物は何? “What do you see in a supermarket?”  ○Song : [Do Re Mi] ○「これなんだ? 地図記号クイズ」 ○「ちぎり絵クイズ」  ○Story book 「くだものなんだ」 (出版社：福音館書店 作絵：きうち かつ)	編 P181 指導計画作成の留意事項(3) 聞	◎評価規準 <評価方法>	

※本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。

※本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。

事例のポイント①、④
 絵本の活用は視覚情報と音声情報を結び付けることに有効である。What’s this? の表現をたっぷり聞かせ、思考させる機会とする。また、絵がよく見えるよう、テレビモニターを効果的に活用する。

事例のポイント①
 学習場面として、日常生活に関する身近で必然性のある場面を設定し、What’s this? の表現をたっぷり聞かせることに重点を置く。

4	<p>◆クイズを楽しむために、身の回りの物について既習表現（色・形・数・分類）を用いて、聞き取ったり答えたりする。</p> <p>○Sit Down Game 冷蔵庫の中にある物は何？ （Small Talk 代替の活動） “What do you have in your refrigerator?”</p> <p>○Song: [Do Re Mi]</p> <p>○「3 ヒントクイズ（色・形・数・分類）」</p> <p>○【Activity】クイズ大会をしよう ①ヒントクイズ LT1 P32-33</p> <p>○Story book 「COLOR SURPRISES」 （出版社:Little Simon 著:Chuck Murphy）</p>	<p>聞 聞</p>	<p>◎クイズを楽しむために、身の回りの物についての英語表現に耳を傾け、推測しながら聞き取っている。〈行動観察〉</p> <p>◎クイズを楽しむために、身の回りの物についての英語表現に耳を傾け、推測しながら聞き取ろうとしている。〈行動観察・振り返りシート〉</p>
5	<p>◆クイズを楽しむために、相手に伝わるように工夫しながら、What's this? を用い、尋ねたり答えたりしようとする。</p> <p>○Sit Down Game 町の中にある店は何？ （Small Talk 代替の活動） “What shop do you see in ○○town?”</p> <p>○Song : [Do Re Mi]</p> <p>○【Activity】クイズ大会をしよう ②漢字クイズ③足あとクイズ LT1 P33</p> <p>○「3 ヒントブラックボックスクイズ」 箱の中のアイテムが何か推測するクイズ “It's 色.” “It's 形状.” “It's 分類.” “What's this?”</p> <p>○Story book 「COLOR SURPRISES」 （出版社:Little Simon 著:Chuck Murphy）</p>	<p>や や や</p>	<p>◎身の回りの物について、ある物が何か尋ねたり答えたりする表現 What's this? について理解し、What's this? を用いて、クイズを出し合うことに慣れ親しんでいる。〈行動観察〉</p> <p>◎クイズを楽しむために、相手に伝わるように工夫しながら、身の回りの物についてヒントを出し、尋ねたり答えたりして伝え合っている。〈行動観察〉</p> <p>◎クイズを楽しむために、相手に伝わるように工夫しながら、身の回りの物についてヒントを出し、尋ねたり答えたりして伝え合おうとしている。〈行動観察・振り返りシート〉</p>




編 P181 指導計画
作成の留意事項(6)





7 本時の展開




目標 クイズを楽しむために、身の回りの物について既習表現（色・形・数・分類）を用いて聞き取ったり答えたりする。

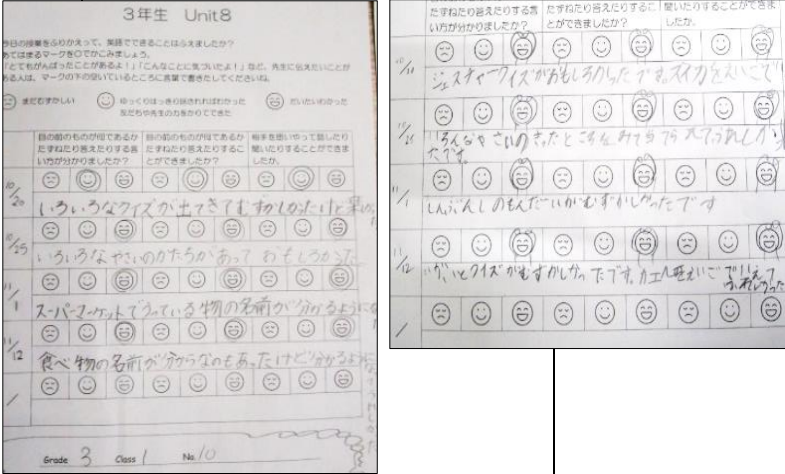
準備 CD・・・**CD**、絵カード・・・**絵カ**、デジタル教材・・・**デジ教**
ICT端末・・・**ICT**、絵本・・・**絵本**、振り返りシート・・・**振シ**

○本時の展開 (4 / 5)

時間	○児童の活動	・指導者の活動 ◎評価〈方法〉		準備物
		HRT	ALT・JTE 英語専科	
1分	○挨拶をする 編 P181 指導計画作成の留意事項(4)	<ul style="list-style-type: none"> 相手の顔を見て、自然に気持ちよく挨拶をさせる。 <p>HRT: Let's start today's English lesson. ALT: Good afternoon, everyone. S: Good afternoon, Ms. ○○. ALT: How are you? S: I'm fine, thank you, and you? ALT: I'm fine, thank you.</p>		
10分	○「Sit Down Game」 (Small Talk 代替の活動) 「冷蔵庫の中には何がある？」 ・着席して教師のやりとりを聞き、自分の家の冷蔵庫の中を想起する。	<ul style="list-style-type: none"> 冷蔵庫の中にある物について ALT・JTE とやり取りをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 冷蔵庫の中にある物について HRT とやり取りをする。 	
	<p>黒板に冷蔵庫のイラストを描き、ジェスチャーを交えて話す。</p> <p>ALT: What do you have in your refrigerator? HRT: It's white. It's a square. It's soft. What's this? (推測させる。) I have many packs of <i>tofu</i> in my refrigerator. How about you? What do you have in your refrigerator? ALT: It's white. It's an oval. It's hard. What's this? (推測させる。) I have many eggs in my refrigerator. HRT: How about you? Stand up, please. (児童全員に尋ねる。)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 起立し、教師の質問を聞く。 冷蔵庫の中にある物を言えた児童から座る。 友達が言った物もよく聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ALT・JTE と交代しながら、児童に冷蔵庫の中にある物を尋ね、言えた児童から座らせる。 興味をもって友達の話の聞けるよう、短い言葉でコメントをする。 児童が発表したものを黒板に簡単なイラストで描く。 	<ul style="list-style-type: none"> HRT と交代しながら、児童に冷蔵庫の中にある物を尋ね、言えた児童から座らせる。 日本語や外来語で答えた物を英語の音声で言い換えて聞かせる。
	<p>事例のポイント① 身の周りの物(飲食物を中心)を表す語彙との出会いを意識し、児童自身が言いたい物を英語の音声でたくさん聞かせる機会とする。</p>			<p>編 P181 指導計画作成の留意事項(4)(6)</p>
		<p>ALT: What do you have in your refrigerator? S: Fish. ALT: Oh! You have fish. That's nice. Sit down, please.</p>		

<p>5分</p> <p>○Song 「Do Re Mi」</p> <ul style="list-style-type: none"> 目的をもって英語の歌を聞き、歌えそうなところを歌う。  <p>事例のポイント① 日本語の「ドレミの歌」との違いがあるか、どんな言葉が何回聞こえてくるか等、めあてをもって何度も歌を聞かせる機会を作る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ALT と交代で歌を繰り返し歌って聞かせる。 聞こえた言葉を発表させ、歌の流れに合わせて黒板に絵を描いたり、絵カードを掲示したりする。 その言葉が本当に聞こえるかどうか、歌を繰り返し聞かせて確かめさせる。 繰り返し歌を聞かせることで、英語らしいリズムや音のつながりに慣れ親しませる。 児童が歌えそうなところから口ずさませる。 	<p>CD 絵カ</p>
<p>5分</p> <p>○本時のめあてを知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px 0;"> <p>3 ヒントクイズをしよう。</p> </div> <p>○「3 ヒントクイズ」 (身近な生き物)</p> <ul style="list-style-type: none"> 3つのヒント(色・形・数・分類)を聞き取り、考える。 <p>事例のポイント① 既習表現(色・形・数・分類)や What's this? などの英語の音声を何度も聞かせる機会とすることに重点を置く。</p>  	<p>3 ヒントクイズをしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> これまでの学習で慣れ親しんできた表現(色・形・数・分類)を使って、ヒントを出し、クイズを出題する。 予想が出たら、同じ考えの児童に挙手させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 交代でクイズを出題する。 児童の予想が出たら、答えを確かめる。 <p>絵カ デジ教</p>
<p>事例のポイント② ここまでの活動でたっぷり聞かせた表現を次の活動で「話すこと[やり取り]」につなげることを意識する。</p>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>絵カードを児童に見せないように1枚選び、ALTに見せてヒントを英語で出してもらおう。</p> <p>HRT: A hint, please.</p> <p>ALT: It's green. What's this? (推測させる.)</p> <p>It has 4 legs. What's this? (推測させる.)</p> <p>It likes water. What's this? (推測させる.)</p> <p>HRT: Yes, It's a frog.</p> </div>	

15分	<p>○【Activity】LT1 P32-33 「クイズ大会をしよう」</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに出題のための3ヒントを考える。 ・3つのヒントの英語表現を発表したり、よく聞いたりしてICT端末を使いクイズに参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ別に出題する問題を一つ決めさせ、クイズの3ヒントを考えさせる。ヒントの提示の順番も工夫させる。 ・ICT端末の準備の指示。 ・できそうなグループから、クイズ出題のサポートをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3ヒントを考えるサポートをする。 ・児童のヒント出題をサポートする。 	ICT デジ教
<p>事例のポイント④ 一人一台のICT端末を活用することで、周囲の状況に流されずに、個人で思考し学習に参加する機会を保障する。Google Jamboardの付箋機能でクイズに参加。</p>		<p>事例のポイント② 既習表現で言えそうなヒントを考えて、What's this?とクイズ形式でグループの友達と協力して発表することに挑戦する。記録に残す評価は行わないが、次時の「話すこと[やり取り]」につながる活動として意識させる。</p>		
		<p>◎クイズを楽しむために、身の回りの物についての英語表現に耳を傾け、推測しながら聞き取っている。【思・判・表】聞 〈行動観察〉</p> <p>◎クイズを楽しむために、身の回りの物についての英語表現に耳を傾け、推測しながら聞き取ろうとしている。【態】聞 〈行動観察・振り返りシート〉</p>		
<p>事例のポイント③ ・後に行う自己評価の振り返りの内容も【態】聞の評価の補助資料とする。</p>				
4分	<p>○Story book 「COLOR SURPRISES」 (出版社:Little Simon 著:Chuck Murphy)</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童に聞こえた音や表現を尋ね、ALTの読み聞かせた英語の音や表現、意味を捉える補助をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本を読んで聞かせる。 	絵本
<p>1分 ○本時のまとめをする。</p>		<p>事例のポイント① 既習表現(色・形・数・分類)に注目して推測させる。仕掛け絵本になっているので、驚きもあり、What's this?の表現を自然に聞かせるのに適している絵本である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらいに照らしたまとめとして、何に着目してクイズを楽しんだか確認する。 		

3分	○本時の活動の振り返りをする。 振り返りシートに記入する。	・単元及び本時のねらいに即した観点に沿って振り返らせる。	振シ
		<div data-bbox="970 331 1433 719" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>事例のポイント③ 学習への取り組みを自己評価で振り返らせ、「主体的に学習に取り組む態度」の評価を考慮するための補助資料とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達や先生の言ったことをよく聞こうとしたか。 ・自分で進んでクイズに答えようと考えたか。 ・分かるようになったことがあったか。 </div>	
1分	○挨拶をする。	・相手の顔を見て、自然に気持ちよく挨拶をさせる。	
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>HRT: That's all for today's English lesson. S: Thank you, Ms. ○○, Ms. ○○. ALT: Thank you, too. See you next time. S: See you.</p> </div>			

(※1) 「言語習得の特性」について

言語の習得は、音声による「聞くこと」→「話すこと」の段階を経て、音声と文字を統合させた「読むこと」→「書くこと」につながるという過程で育まれる。